

震災復旧を支えた山口県 7月末で短期派遣を終了

熊本地震発災以降、御船町を重点的に支援した山口県。8月からは中長期派遣に移行します。

最終陣で町に派遣された団長の宮本政典さん（山口県総合企画部情報企画課副課長）と、リエゾンの鍛冶英利さん（山口県防災危機管理課主査）に、山口県派遣団を代表して派遣の経緯や感想などを語っていただきました。

（敬称略）

発災後の体制

宮本 東日本大震災の経験から、職員派遣が行われることは予想していました。地震から数日後、部局内の副課長に召集がかかり、各



▲役場で引継を行う山口県のリエゾン（総合調整業務）



▲発災直後の混乱期では、派遣職員の支援が不可欠だった

の意向を踏まえながら被災地支援（主に物資支援）を開始。4月18日の九州地方知事会において、より効果的な被災地支援対策として、カウンターパート方式が導入され、山口県は熊本県御船町に対して重点的に支援することになりました。

リエゾン2人を御船町に派遣し、4月19日には第1陣として、

県職員20人を御船町に派遣。4月30日には山口県知事が訪問します。

そして7月29日、第20陣の帰還をもって短期派遣を終了しました。御船町への派遣者は、山口県と県内市町職員併せて、699人です。8月以降は、地方自治法に基づき中長期派遣へ移行しています。

派遣前の心境

宮本 課内職員に声掛けする以上、自分も機会があれば派遣団に参加するつもりでした。7月は副課長としての業務に支障がない時期でしたので、「よし、行って来よう」と自分から志願しました。派遣が決まった職員は人事課から



▲4月30日 村岡嗣政山口県知事が訪問

指名された者や自ら希望した者などさまざまでしたが、みんな使命感を持って現地に向きました。

鍛冶 私は、山口県のリエゾンとして、発災直後と今回で2度の派遣を経験させていただきました。やはり、1回目の派遣の際は発災間もないこともあり、現地での対応や業務が想像できなかったのも不安でした。



◀第20陣団長の宮本政典さん（左）と第2陣・第20陣リエゾンの鍛冶英利さん（右）
宮本さんは派遣職員の健康管理や業務管理、鍛冶さんは職員や物資支援の調整を行った。

- *1中長期派遣…地方自治法に基づいて、派遣元・派遣先相互で協議し、派遣先の地方公共団体職員を併任するもの。
- *2カウンターパート方式…大規模な災害時に効率的・迅速に被災地を支援することができるように、被災地に対して支援を行う担当府県を決定する方式。

被災の経験について

宮本 これまでに経験した地震で最も規模が大きかったのは、平成13年の芸予地震（震度5強）です。地震の際、家族4人で岩国市の吉香公園にいたのですが、土壁が崩れ、電柱が揺れ、周囲に倒れてくるようなものが無い事だけを確信し、しゃがむのが精いっぱいでした。幸いながら、当時住んでいたアパートに被害はなく、食器棚から飛び出しそうになっている食器の整理だけでした。

被災現場を見て

宮本 過去に砂防課災害復旧班に所属していた際、全国講習会で、長岡市に行ったことがあります。平成16年の新潟県中越地震からちょうど1年後で、小千谷市、山古志村の災害復旧現場等を中心に視察しましたが、震災の爪痕も多く残っており、今回、御船町の被災現場を見て、その時のことを思い出しました。

鍛冶 山口県から御船町まで、通常なら4時間の行程を、8時間以上かけて到着しました。途中、道路は陥没し、多くの家屋の瓦は剥がれ落ち、ブロック塀が道路に散乱している状況を目の当たりにしたときは、災害の被害が大き過ぎる「本当に山口県で支援できる



▲町内全域で道路が陥没する被害が出た

のか」と不安に思ったことを強く記憶しています。

派遣の経験を活かして

鍛冶 山口県では、熊本地震を自県に置き換えて、各マニュアルや対応の見直し、修正を行うための検証作業を進めています。その中で、御船町の皆さんからいただいた貴重な経験を糧として、派遣された全ての職員が感じた課題や事案などを調査し、今後の検証作業に盛り込むこととしています。

御船町に一言

宮本 体調を崩されぬよう、ストレスをためないよう、健康管理にご注意ください。一日も早い復旧・復興を、心からお祈りしています。

鍛冶 まずは、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。私は2度の派遣を通じて、被災



▲最後のあいさつを述べる宮本団長

者の皆さんが大変な苦勞をされ苦しんでおられる中で、対応される町の職員の皆さんも同じ被災者として、業務に一生懸命に励んでおられることを知りました。

これからも、被災された職員と町の皆さんが一丸となって支え合い、より良い御船町を復興されるよう山口県から応援しています。

●送別セレモニー

7月29日、山口県派遣団最終陣の送別セレモニーが役場正面玄関で行われました。式では町長や議長から、これまでの支援に対する感謝の言葉が述べられ、惜しまれるなか、派遣団は帰還していきま

